



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター 8 階 / 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院医学系研究科 生物統計学/疫学・予防保健学教室

電話：03-5841-3250 (内線：23520)

担当者の所属・氏名 東京大学大学院情報学環・学際情報学府 生物統計情報学コース 田中晴菜

【研究責任者】

聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 木村武志

【研究代表者】

東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野 松山裕

健診を受診された方を対象とした

大腸癌および大腸腺腫に関する研究

1.研究の対象

2015年10月5日から2018年10月4日までに、聖路加国際病院附属クリニック予防医療センターの健診を受診された方

2.研究の目的・方法

がん罹患者のうち、大腸癌に罹患する人が最も多く死亡者数は年々増加傾向がみられ2020年次には約5万人以上が大腸癌で亡くなったと言われており、重要な疾患であると考えられています。近年、大腸癌と食事に関する研究が盛んに行われていますが、人種により食生活が異なることが挙げられ、大腸癌と食事に関するエビデンスは一貫性が無いと言えます。そこで、本研究は日本人における食事に着目し、大腸癌または大腸腺腫の関連を明らかにすることとしています。なお、この研究で診療録（カルテ）に記載される内容についての研究のみになります。研究機関は、研究機関の長の実施許可後～2026年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年6月3日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

年齢、性別、現病歴、既往歴、BMI、便潜血検査、大腸内視鏡検査所見 等

4.外部への試料・情報の提供

聖路加国際病院附属クリニック予防医療センターの健診データは、聖路加国際大学学術情報センターの実務者が抽出し、個人が特定できないように対応表のある仮名化を行なった上で対応表を管理し、聖路加国際大学内にて解析作業を行う。また解析の段階でパソコンを使用する際には研究者本人のみがアクセスできるようパスワードの管理を徹底する。データと研究対象の方の対応表は、聖路加国際大学学術情報センターで保管・管理する。

5.研究組織

東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野 松山裕
東京大学大学院情報学府・学際情報学府 生物統計情報学コース 田中晴菜
聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 木村武志